



いのち あかた
生命の在り方

ちいろば会理事 富田 忠一

去る3月22日(水)、ちいろば会の理事、評議員、後援会長などを長く、務めていただいた高見まり子さんが逝去されました。ちいろば会の活動は、昨年2月に逝去された高見敏雄さん、高見まり子さんご夫妻が1964年に設立された「愛の園幼稚園」の実践からスタートしています。「幼稚園の園庭では、障害の有無を問わず子供達は、ともに遊び、育ちあっている。しかし、大人に近づくにつれて、障害の有無によってどんどん分けられ、障害をもつ人たちには居場所すらなくなってしまう。大人になっても、障害をもつ人たちが地域の中で活躍できる場を創りたい」・高見まり子さんのそんな想いをきっかけに福祉作業所づくりの活動がはじまりました。愛の園の「ともに育つ」実践を振り返って高見まり子さんは次のように記しておられます。

『日本キリスト教団西大和教会を母体として幼児施設「愛の園」が発足しました。子供達が、それぞれの与えられている力に応じて、楽しく、幸せに、共に育って行く事ができる場が保障されることを祈りました。初期のころから、なんらかのハンディーがある子供達も加わりました。神様から尊い命を与えられている子供達が主役の愛の園では、ハンディーのある子供達は特別だという考えは全く通用しませんでした。子供達も互いに助け合って、補いあって楽しく毎日を過ごしました。ある日、年長組の坊ちゃんが、3年間共に過ごしたお嬢さんが全く見えていない事に気が付き「先生、〇〇ちゃん見えてへん」とびっくりしたように告げにきました。今まであんなにしゃべったり、わらったり、一緒にリズムをしたりしていたのにと、大人の方がびっくりしてしまいました。・・・(中略)・・・お互いに不自由でも、不自然でもなかったのです。・・・(中略)・・・ハンディーは、共に遊ぶ子供達にとって何の支障ももたらさないので。見える、見えない、出来る、出来ないに線を引く、大人の狭さを突かれた思いがしました。・・・(中略)・・・当たり前の事ですが、ハンディーのある、なしに拘わらず、全ての人に「楽しく、幸せに、生きる権利」があります。人が人と連なり、互いに支え合い、補い合う所に幸せ、喜びが生まれます。それが、生命の在り方だと思ひます。・・・』(ちいろばだより 100号 巻頭文より抜粋)

障害者の居場所すらなかった 40年前と比べると今日は、多様な障害福祉サービスが存在します。しかし、それらの多くは、「障害をもつ人たちのための特別な場」です。ちいろば会の原点は、愛の園幼稚園の園庭で遊ぶ子どもたちの関係性です。わたしたちちいろば会が目指すべきは、障害の有無で分けることなく、補い合って生きる関係です。まさに、これこそが、「インクルーシブ」な社会です。障害をもつ人たちも地域の一員として活躍できる社会を実現するために、今、一度、高見まり子さんの言葉に学びたいと思ひます。

二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(一・二・三・四・五・六・七・八)の日 発行

～ ほこ おも 誇りに思える ～

グループホーム 主任 米田 守

ちいろば会に入職して今年で20年になります。入職当時はまったく畑違いの職種から転職でふくしのふの字もわからない私には不安いっぱいな日々でした。上司、先輩、同僚のアドバイスにも助けてもらいながら、利用者と共に過ごし笑ったり、泣いたり、怒ったり・・・

なんとかここまでやってこれました。わからないところは上司に聞き法人内での研修や勉強会、外部の県の研修などにも参加させていただく機会も頂き、専門分野の知識を徐々に高めていくことができました。

定期的に県の研修にも参加させていただきますが・・・現在の障害福祉サービスは利用者が自らの意志で福祉サービスを選択できる制度になり、国は障害福祉サービスの質と量の向上を掲げ、事業参入の規制緩和をおこない、企業の参入を促進しました。これまで社会福祉法人が担ってきた福祉サービスまでにも競争原理が導入されたこともあり、研修ではそうしたさまざまな法人の職員と出会う機会があります。良いのか悪いのか？いろいろな人、いろいろな法人の職員、と一緒にディスカッションしながら研修の中で話しているとそれぞれに考え方や方針もさまざまです。そんなときにいつも心の中で感じるがあります。「ちいろば会の職員でよかったなあ」と誇りに思える瞬間です。

福祉サービスの事業は一般の営利目的のサービス業とはまったく同じようなわけにはいかないのです。国は一般の市場と同じような競争原理によってサービスの質の向上や量の拡大を期待しているようですが、研修では質の向上が進んでいると感じることはありませんしそうした国の考え方と現実との間にギャップを感じるこのほうが大きいです。

ちいろば会の法人理念は「ともに生きる社会を創造する」・障害を持つ人をはじめすべての人が自尊心を持って生きることのできる社会の創造・障害者差別をはじめとしたあらゆる差別を許さない社会の創造です。ちいろば会職員は法人理念を念頭に、利用者の方々が主体的に生活できる支援を提供しなければなりません。後輩職員には利用者の支援については大変だ、難しい、と感じている人もいるでしょう、自分の支援スキルがまだまだ

「ちいろば会の職員でよかったなあ」と誇りに思えるが瞬間がくると

思います・・・
ともに頑張っていきましょう。



「自分たちの代表は自分達で決める！！ - 第二回役員選挙 -」

ちいろば園職員 儀道 香織

この四月に統一地方選挙が行われましたが、同じ時期ちいろば園では当事者活動「みんなの会」の二回目の役員選挙が、笑顔あり涙あり笑いありで行われました。

選挙の立候補者はまず、写真を撮影し選挙ポスターを作成します。それを受付に提出し、演説に向けての準備を始めます。立候補する利用者さんは、それぞれがさまざまな考えを持っています。その意見を調整するヒアリング力が支援者には求められ、普段の関わりの深さが露呈する場面でもあります。

懸命に「自分達にとってより良いちいろば園、みんなの会とは？」と考える立候補者の方と何度もむかい合い演説の原稿を作り上げていきます。そして完成した原稿を持ち、いざ演説の場へ！！勇気を出して一歩踏み出した方、挑戦する気合満々の方、どの立候補者の方も大勢の前でまっすぐに立つ姿を見せて頂き、本当に感動しました。それは有権者である演説を聴衆する側の利用者さんにも伝わり、聞き逃すまいとまっすぐにみつめているいつもと違う姿が見られました。

そしてここで大切になってくるのが、演説を見て聞いていた利用者さんも「自分達にとってより良いちいろば園、みんなの会とは？」を考え、それに適していると自分が思う立候補者への投票への意思決定支援が支援者の役割となるのです。支援者がその役割を的確に担うことができこそ、利用者主体の選挙が成り立つのだと思います。

私は、この役員選挙に二回携わらせて頂き、「自分を見る側」とこれまでの生活環境からそう思い込んでいる利用者さんが多数いると感じ取りました。立候補できる権利は誰にでもあり、それを引き出すことが出来ないのは明らかに私達支援者のスキル不足と、「あなたは見る側」と支援者が心のどこかで思っている優生思想の考えがあるのではと思います。

さあ、みんなの会の任期は二年です。次の選挙では最高のバックアップが出来るように、スキルアップを目指します。



「みんなが主役であるために」

ちいろば園職員 野呂 千代子

ちいろば園に入職して、一年半が経ちました。異業種から転職した私にとって、全てが未知の経験で覚える事はもちろん、感じることや学ぶことが沢山ありました。作業活動は職員がするのはなく、利用者さんがどうしたら参加できるのか。それを考えるのが職員である支援員の仕事のひとつだよと教えていただきました。私は入職してから軽作業一階に配属されたのですが、すでに先輩方が利用者さん一人一人に合った支援ツールを作っていたので、利用者の皆さんはそれを使うことで、スムーズに作業されています。

今年の二月、シンコー食産さんから新しい内職の作業を頂けることになりました。ボトルにシールを貼る作業です。これを利用者さんが出来るように、工程を細分化しました。ボトルにシールを貼るだけの簡単な作業と思われがちですが、まず段ボールからボトルを出す→ボトルをシールを貼る面に合わせる→シールをはがしてボトルに貼る→ボトルを段ボールに戻すというように皆さんの工程があります。利用者の皆さんが何かしら自分の役割を持てるように、そのために、何があったらその作業が出来るのか考え、支援ツールを作りました。試作を作り、利用者さんが使いやすいかを何回も確認し、どうやったらより使いやすいかを考えなければなりません。先輩職員にアドバイスを頂き、何回も試作を改良しました。一回目の試作は使いにくそう、何回も「こう使うのですよ」と説明してしまいました。でも、そんなに説明しないと使えないという事は利用者の皆さんにとっては、とても使いにくいものなんだと感じ、使い方を説明して自信を奪うようなことをしてしまったことが恥ずかしくなりました。

試行錯誤の上、支援ツールが出来上がりました。

今では、利用者の皆さんはそれを使い、完ぺきに作業されています。職員の手を借りずに、利用者の方が一人で作業されている姿が、とても嬉しそうで見るとこちらも嬉しくなります。

こうやって成功体験を積んで欲しいし、社会ともとつながって欲しいと思いました。そして私は、もっともっと利用者さんのことを観察して、困りごとを解決していけるように頑張ります。



「グループホームでの休日の過ごし方」

グループホーム職員 窪 美代子



休日は、テレビを見たり、昼寝をしたり、ゆったりと過ごされる利用者さんがいます。ひとりでの外出、ヘルパーさんとの外出を楽しむ利用者さん、趣味のダンスのレッスンの時間を楽しまれる利用者さんとおもい思いの時間を楽しまれています。

平日は、グループホームに帰ってくると夕食やお風呂などであつという間に夜になり、居室でゆったりするか、テレビなどを見ているとすぐに就寝時間になってしまいます。

そこで、休日は、平日にできない居室の掃除や衣類の整理、コックスーツのアイロンがけの日課があります。身の周りの事を自分で出来ることは自分で、出来ないことは職員と一緒にします。自分に必要な物をヘルパーさんと買い物に行く事もあります。

コロナウィルスの影響で休日の過ごし方も変わりました。食事の時間もみんなでおしゃべりしながら楽しく過ごしていましたが、対面にならないようにして少人数に分かれて食事をするようになり、静かな食事の時間になりました。みんなで食事やおやつを作ることもなくなり、みんなで居間でテレビを見て楽しむこともなくなりました。買い物、外食に全員で出かけていましたが、今は、ヘルパーさんと個々に外出されることが多くなりました。

そんな中で今年度からグループホーム全体の行事（バーベキュー、ハイキング等）を再開する予定です。コロナウイルス感染拡大以前のように楽しみが増えることを願っています。すみれ荘も5月から土日利用が始まります。土曜日にいつも自宅に帰って、月曜日からすみれ荘を利用するのが習慣になっています。土曜日に自宅に帰れなくなることを受け入れて貰えるのに時間がかかる利用者さんもいらっしゃいます。安心して過ごしてもらえるように土日利用はどのようにすごすのかを解りやすく説明したり、誕生日会等のイベントを盛り込み、充実した休日になるように考えていきたいと思っています。

平日は、生活リズムを整えて継続的に日中活動に取り組めることを目指しています。休日は自分の楽しみを見つけ、1週間の疲れを癒して月曜日からまた頑張っていこうと思ってもらえるように支援していきたいと思っています。

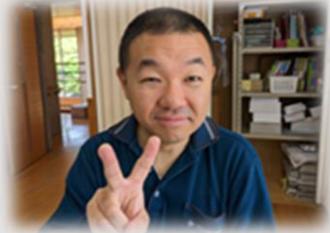
—**ぼくも わたしも みんなが**^{しゅやく}**—**

- しゅもん 質問① ^{なまえ ねんれい} 名前と年齢は？
- しゅもん 質問② ^{かぞく} 家族にまつわるエピソードは？
- しゅもん 質問③ ^{がっこう しゅうろうじだい} 学校、就労時代のエピソードは？
- しゅもん 質問④ ^{さいきん き} 最近気になっていること、^{きょうみ} 興味があることは？

- ① ^{まえひら まさやす さい} 前平 正恭 43歳です。
- ② ^{ぶし せいかつ} グループホーム「にぬふあ星」で生活しています。
^{じっか かえ かあ どう} 実家に帰ると、お母さんがいます。お父さんは7年前に亡くなりました。
^{かあ いっしょ} さびしくなりましたが、お母さんと一緒にがんばっています。
^{ときどきあに かえ かぞく がいしょく たの} 時々兄も帰ってきて、家族で外食することが楽しみです。
^{とく ぼく ずし だいす あに つ い} 特に僕は、くら寿司が大好きでよく兄に連れて行ってもらいます。
- ③ ^{いかるが ちゅうがっこう にかいどうようごがっこう かよ} 斑鳩中学校、二階堂養護学校に通ってました。^{にかいどうようごがっこう} 二階堂養護学校では、^{あき こうがい} 秋の郊外マラソン大会
^{はし} でゼッケンをつけて走ったことが思い出です。^{しんどかつたけど} しんどかつたけど最後まで^{がんばって} 頑張っていました。
^{はし お よしおかべいか はたら みんな} 箸尾にある、吉岡米菓で働きました。皆によくしてもらいました。^{ともだち よ あ なかま} 友達と呼び合える仲間がい
 なくてさびしかったです。
- ④ ^{いかるが まつ たいこ おと だいす きよねん ちゅうし} 斑鳩のお祭り、太鼓の音が大好きです。去年はコロナで中止だったけど今年こそは^{ことし} 秋祭りを^{あきまつ} 楽し
^{たいの} みたいです。今はグループホームで生活していますが、^{しょうらい まつなが} 将来は松長さん(ちいろば園利用者)
^{えんりようしゃ} のように一人暮らしをしてみたいです。そのために、^{じぶん} 自分でできることは^{がんば} 頑張っています。



- ① ^{さいどう そういちろう さい} 斎藤 総一郎 42歳です。
- ② ^{へいじつ} 平日はグループホーム「白之出荘」で過ごしています。
^{じっか はは ちち おとうと にんぐ} 実家では母と父と弟との4人暮らしです。
^{ねん がつ} 1992年の1月におじいさんが亡くなって、悲しかったです。
^{さいきん かぞく} 最近は家族であまりお出かけしなくなったので、^{しゅうまつ じてんしゃ でんしゃ} 週末は自転車や電車で、^{いろ} 色々な^{ところ} 所に一人
^で 出かけています。
- ③ ^{かんまきだいにしょうがっこう かんまきだいにちゅうがっこう なら けんりつこうとうようごがっこう} 上牧第二小学校、上牧第二中学校、奈良県立高等養護学校
^{しょうがっこう ちゅうがっこう こうこう} 小学校、中学校、高校の時にあった、「^{うんどうかい} 運動会」「^{りんかんがくしゅう} 林間学習」「^{しゅうがくりょこう} 修学旅行」「^{えんそく} 遠足」などの行事
^{たの} が楽しかった事。特に、^{しょうがっこう ねんせい} 小学校5年生の遠足で「^{えんそく} 鈴鹿サーキット」に行って、^{すずか} 乗り物に乗ったの
^{たの} が楽しかった。小学校、中学校、高校の時に、^{せんせい おこ} 先生に怒られたり、^{だれ} 誰かにイジメられたり、^{だれ} 誰
^{こと ほうかご いのこ} かとケンカになったりした事。放課後に居残りさせられたり、^{たいいく じゅぎょう} 体育の授業でぼくのキラいな「マ
^{たいかい} ラソン」や「マラソン大会」で走って、^{しんどかつた} しんどかつた事。「^{こと} インフルエンザ」の予防でぼくのキラ
^{ちゅうしゃ や} イな注射を打って、^{こと} スゴくイヤだった事。
- ④ ^{ことし} 今年の3月から、^{えん} ちいろば園のパソコンで^{ひろせひとみ} ケイン・コスギ、^{かわいしゅう} 広瀬仁美、^{おがわてるあき} 河合秀、^{たち} 小川輝晃 達
^で が出ていた「^{にんじゃせんたい} 忍者戦隊カクレンジャー」の動画をよく見えています。
^{かね} お金をムダ使わずに^{ちよきん} 貯金して、^{でんしゃ} 電車で^{おおさかじょう} 大阪城ホールに行き、^い 家入レオの^み コンサートを見たい。



えんじけん かんが やまゆり園事件を考える2023

こくれんそうかつしよけん い み
一國連総括所見の意味するもの一

19名もの障害をもつなかまの命が奪われた「やまゆり園事件」から7年が経過しようとしています。悲惨な事件の現場となった「やまゆり園」はすでに同じ場所で建て替えられ、あらたな施設での日常が進行しています。

障害のある人たちの人権や自由を守るために定められた「障害者権利条約」。わが国は2014年に批准し、政府がどのような取り組みを行ってきたのか、国連の権利委員会による初めての審査が昨年(2022年8月)ジュネーブで行われ、9月には総括所見が公表され、日本政府の取り組みに対して分離教育を中止し障害者を包容する教育(インクルーシブ教育)を表現する国の行動計画を作ることや精神障害者に対する本人同意に基づかない強制入院の廃止など多くの改善勧告が出されています。

障害をもつ人たちとともに生きる社会を構築するために何が必要なのか、国連の審査と勧告の意味することは何なのか。わたしたちにできることは何なのか。ご一緒に学びましょう・・・

2023年 7月23日(日) 13:30~16:30

奈良市中部公民館 5階ホール 参加費無料

第1部: 講演 「国連総括所見の意味」(仮題)

講師 DPI日本会議副議長 尾上浩二氏

第2部: 質疑と意見交換

※ 手話通訳、要約筆記 あり

※ 第1部はZOOMで配信予定

詳細はちいろば園までお問い合わせください

主催: 「やまゆり園事件」を考える会 奈良
奈良県障害者差別をなくす条例推進委員会

お問い合わせは・・・0745-72-1923 ちいろば園まで

☆後援会費・ちいろばだより年間購読料 (2023年2月1日～2023年3月31日)

ご協力ありがとうございました。

篠原範子、小出亜希子、大阪聖和教会、高の原教会

以上 敬称は略させていただきます。

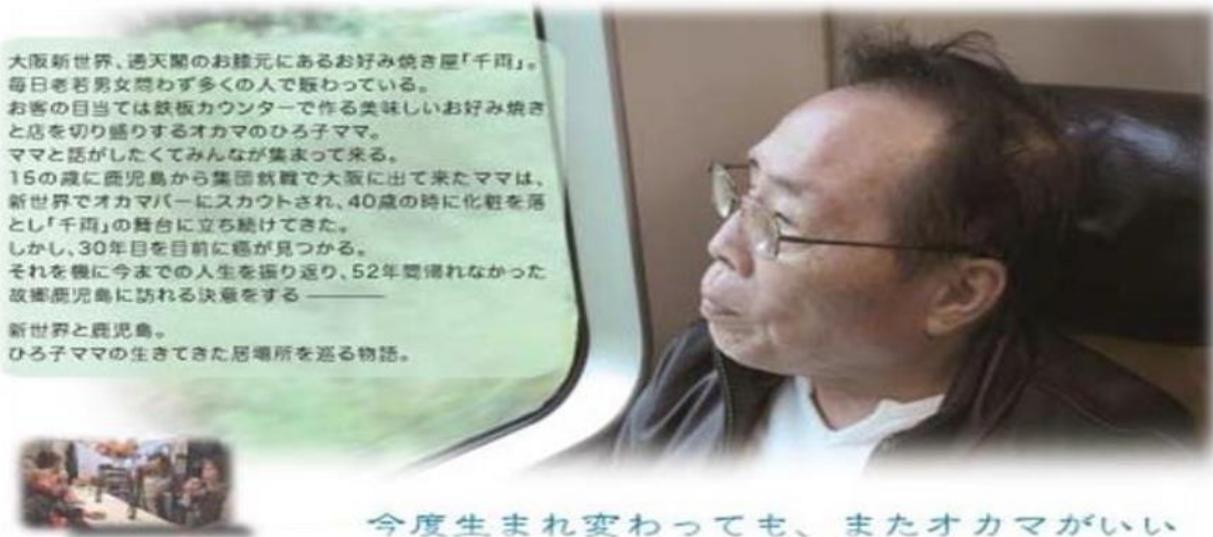
※ちいろばだより年間購読料 500円/年 のご協力をお願いします。

昨年度途中でご入金いただいた方々は必要ありません。

※ちいろばだよりの配送停止をご希望の方は、ちいろば園までご連絡ください。

—ちいろば会 上映会 (地域公益事業) のご案内—

『わたしの居場所～新世界物語～』 (2018年) 監督：武田倫和



にゅうじょうむりよう
入場無料

ちいろば園2階会議室 開場：13:00

2023年6月10日 (土) 13:30～15:30

※ 当日、王寺駅までの送迎を行います。

送迎を希望される方は前日までにご連絡ください。

KSKS ちいろばだより

編集人／ ちいろば会後援会 年6回 頒価 50円
連絡先／ 奈良県生駒郡三郷町勢野北5-6-14
TEL：0745-72-1923 FAX：0745-72-1924
発行人／ 関西障害者定期刊行物協会
大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

二〇〇〇年十二月十二日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行